

# 令和元年度 第1回学校協議会報告

日時：令和元年9月7日(土) 13:30～15:30

会場：東大谷高等学校 多目的室1

## 1. 学校長挨拶

## 2. 協議会委員自己紹介（敬称略）

委員：東 京子氏 丸岡 俊之氏 中村 俊一氏  
堀川 浩氏 岡崎 正昭氏 宮坂政宏氏

事務局：長尾文孝（校長） 市居政彦（教頭） 橋本壽志（指導部長） 東明美（教務部長）  
竹花顯（校務部長） 出水謙一郎（入試対策部長） 志藤真裕（情報部長）  
吉永雅也（進路指導部長）

## 3. 議事

### （1）令和元年度当初生徒概況

- ・生徒在籍数
- ・高校入試概況

### （2）令和元年度学校経営目標

- ・高大連携の強化……薬剤師育成プログラム本実施 教員養成プログラム内容の決定
- ・進学コース……内部進学の教化及び幅広い進路指導への対応
- ・国際コース……海外留学（ニュージーランド）本年度希望76名中27名（昨年25名）
- ・特進コース……国公立30名関関同立100名を目標に学習の効率化を図り、理系クラスでの結果を向上させたい。

### （3）授業アンケートについて

- ・例年評価の低い設問3「自主的な学習について」は、自主学習アプリ（クラッシー、すららなど）を有効利用し、学びに向かう力の強化を図る。
- ・設問11「この授業は学習を促したり深めたりする工夫がなされていますか」は内容を、もっと生徒が回答しやすいものに改善していく。
- ・設問13「この授業はあなたにとって良い授業ですか」が低評価の教員は、授業改善が急務である。
- ・授業アンケート結果は、特定の教員が下げている可能性があるため、個別に対応する必要がある。
- ・授業アンケート結果から、授業内容の理解の定着を促す手立て（教材、熱意、管理等）を明確にし、授業をマネジメントしていく必要がある。

### （4）その他

- ・生徒だけでなく、保護者の対応をさらに充実させる。
- ・教育相談コーディネーターを配置するのも、教育内容改善の一助となる。
- ・留学をより効果的なプログラムとするために、目的の設定と検証を繰り返し行わせる。
- ・知識量をそのままに学力の3要素を育てる時間を確保するためにはICT機器を用いた授業の効率化が必要となる。